

嶮山小通信

11 月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

すがすがしい思い

校長 山口 昭代

今朝は、待ちに待った快晴です。澄んだ真っ青な空とまぶしい太陽が、目と心に飛び込んできます。何日振りの「よい天気」でしょう。登校する子どもたちの声や足どりもいつもよりずっと明るく弾んでいます。気象や周囲の環境、空気、気配、そのようなものが私たちの心と体に及ぼす大きな影響というものをあらためて実感します。

それにしましても、雨の多い、不安定な天候の 10 月でした。秋空とか秋晴れとか星月夜などという言葉が思い浮かばないほどの荒天が続いた日々でした。

運動会の開催に際しましても、延期決定とともにいくつかの変更点にも対応していただき、ありがとうございました。平日実施となって、参観がかなわなかったご家庭や地域、関係者のみなさま方も多くいらっしゃったことと思われます。また、腕によりをかけて作られた運動会のお弁当を、家族で囲む楽しみを味わえなかった子どもたちの残念な気持ちもあったことでしょう。加えて、PTA 競技の綱引きで、元気いっぱいでも和やかな、保護者のみなさまと教職員との姿を子どもたちに見てもらえなかったことも、私といたしましては残念なことではありました。

しかし、子どもたちはがんばりました。夢中になって、渾身の力を発揮したと言える運動会になりました。赤組と白組のたった 6 点差という、あれほどの僅差での決着は私にとって初めての経験です。さらに、高学年騎馬戦の、あの熱戦後の、奇跡的ともいえる「引き分け」。そして、大玉送りの接戦も、緊張感のなか、どちらが勝ってもおかしくない拮抗した集中力の成果と言えました。＜勝てば喜ばしく、負ければ悔しい＞ことは、もちろん承知のうえ、それでも今年の運動会で子どもたちが実感したのは、**全力を尽くし、やり切ったその先にある、＜勝っても負けても嬉しい気持ち＞**ではなかったかと思うのです。すがすがしさや達成感や満足感との出会いが、どの子どもにもあったこと、それは学校行事のねらい実現への大きな一歩です。

心も体も健康な子どもたちを育む嶮山小学校の、まさに主役である子どもたちの、核心のようなよい姿が見られた喜びを、教職員全員で分かち合いました。

そして、運動会までに、6 年生を中心に高学年の子どもたちが、意欲と時間を注いで「準備」に励んでくれた多くの素晴らしい実績も、これから引き継いでいく大切な嶮山小の財産であることを確認し合いました。

子どもたちの前向きな気持ちと安全を見守り、声をかけ、支え続けてくださった保護者のみなさま、地域、関係のみなさまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度、嶮山小は次の荣誉ある表彰を受けることになりました。ご報告とお礼を申し上げます。

祝

平成 29 年度	神奈川県歯科保健優良学校「優秀校」	
	全日本学校歯科保健優良校「奨励賞」	を受賞
平成 29 年度	優良 P T A 神奈川県教育委員会表彰	
	日本 P T A 全国協議会会長表彰	を受賞